

令和2年2月定例会 議案に対する質疑通告（発言順位）

議案第1号 牧之原市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

1. 14番 大石 和央 議員

- 1 特別職の期末手当を0.05月分引き上げるものだが、その根拠は人事院勧告に基づくものであり、さらに市特別職報酬等審議会での答申を受けての提案である。しかし人事院の給与勧告は一般職の国家公務員が対象である。あらためて妥当性・適正性についてお聞きする。

議案第10号 牧之原市原子力防災センター条例の制定について

1. 14番 大石 和央 議員

- 1 第3条において防災センターの業務が規定されているが、避難訓練についてはどのように実施されるのか。
- 2 平時での施設利用はどのように活用することができるのか。

議案第12号 牧之原市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

1. 5番 平口 朋彦 議員

- 1 新たに追加したいとする「(災害弔慰金等支給審査委員会の設置)第16条」について、別途委員会条例を策定しないのはどういった理由からか。
- 2 諮問に応じて調査審議する事項とは具体的にどういったものになるのか。本議案と同じく今定例会に上程されている「令和2年度一般会計予算」に関する附属資料「事項別明細書」には委員等報酬として18,000円が計上されているが、調査審議する事項がない場合における定期開催は予定されているのか。
- 3 組織される委員会委員の人数や任期等は、同条第3項の「前項に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、市長が別に定める」に丸められるものと解釈するが、本条例にぶら下がる規則に明記されるのか。また委員会の委員の委嘱に関して、医師、弁護士などが挙げられているが、それぞれどういった見識、知見を求めているのか。

議案第 15 号 牧之原市営住宅管理条例の一部を改正する条例

1. 6 番 藤野 守 議員

市営住宅の内、入居率の低いハイツ地頭方及び牧之原団地において入居要件の緩和を1年間試行をした。その結果合計5件の増加があった。緩和を未実施の他団地では入居率の低下も見受けられているが、それらに比較して緩和効果があったとしている。今後全団地での緩和により入居率の改善のための取り組みがあるか伺う。

2. 14 番 大石 和央 議員

入居者資格要件の緩和により、障害者の自立生活に寄与するのではないかと考える。また施設から地域移行を促進するためには、具体的な事例を挙げて広報する必要があるのではないかと考える。